

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第205回定期演奏会

The 205th Regular Concert

孤と群

～ソロvs合奏の魅力～

演出：川崎絵都夫
舞台監督：高橋久美子

2012年3月4日[日]
午後3時開演
津田ホール

主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
助成：平成23年度文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)
■ 日本音楽集団： <http://www.promusica.or.jp/> E-mail： office@promusica.or.jp

1、シャコンヌ～邦楽器のための 安達元彦作曲：1971年

Chacone~for Japanese Instruments

[箏独奏] 西原祐二 [指揮] 田村拓男

[笛] 遠藤悠紀(助演)

[五孔高音尺八] 阪口夕山 [七孔尺八] 米澤浩 [五孔低音尺八] 原郷隆

[太棹三味線] 山崎千鶴子 [細棹三味線・低音三味線] 穂積大志

[胡弓] 多々良香保里

[琵琶] 藤高理恵子

[箏] 熊沢栄利子

[二十絃・中棹三味線] 三宅礼子 [十七絃] 城ヶ崎美保

[打楽器] 尾崎太一 望月太喜之丞 山内利一 細谷一郎(助演)

雅楽の楽器「箏」に先導されて各楽器が少しずつ変形しながら力強く反復される第一部分。地鳴りのように引き継がれている打楽器の上に古典的な手法で奏される尺八と三味線の掛け合いの第二部分。そして堰を切ったように炸裂する打楽器の競演。やがてそれらが次第に終息し、箏で締め括られます。(第155回定期演奏会プログラムより転載)

2、尺八協奏曲～風の歌を聴け 川崎絵都夫作曲：2010年

Shakuhachi Concerto "Hear the Wind Sing"

第1章 東の風 第2章 南の風 第3章 西の風

[尺八独奏] 元永拓 [指揮] 苦米地英一(客演)

[笛] 新保有生

[尺八I] 原郷隆 [尺八II] 大賀悠司

[三味線I] 穂積大志 [三味線II] 簗田弘大

[琵琶] 藤高理恵子

[箏I] 熊沢栄利子 [箏II] 田村法子 [十七絃] 久本桂子

2010年尾崎宗昌氏の委嘱により作曲。同年、藤原道山氏のSoloにより初演。息は風…風は巡る、東へ、南へ、西へ。軽やかな尺八の音色が、合奏に寄り添われ、時には対抗されつつ一陣の風のように吹き抜けます。元永拓氏の迫力有る演奏をお楽しみ下さい。(作曲：川崎絵都夫)

3、琵琶協奏曲～祇園精舎 秋岸寛久作曲：2005年

Gion Shoja- Concerto for Biwa

[琵琶独奏] 久保田晶子 [指揮] 稲田康

[箏] 西原祐二

[笙] 西原貴子(助演)

[笛] 新保有生 [龍笛] 遠藤悠紀(助演)

[尺八I] 阪口夕山 米澤浩 [尺八II] 元永拓 大賀悠司

[三味線] 守啓伊子

[箏I] 熊沢栄利子 [箏II] 桜井智永 [十七絃] 久本桂子

[打楽器] 仙堂新太郎 山内利一

2003年、オーケストラアジアの委嘱により作曲、2004年、石田さえさんの琵琶、稲田康さんの指揮によって、ソウルで初演されました。「滅びの美学がとても日本的」とたいへん好評で、何度も再演されています。日本楽器版は2005年に編曲、こちららたびたび演奏していただいておりますが、今回初めて日本音楽集団で取り上げていただくことになりました。

諸行無常を語るソロと、それに抗いながらも同調していく邦楽器群。この曲を知り尽くした稲田さんと、初めての久保田さんの演奏、楽しみです。(作曲：秋岸寛久)

4、箏協奏曲～挿頭花－かざし－ 高橋久美子作曲：委嘱初演

Concerto for Koto and Japanese String Instruments: "Kazashi"

[独奏箏] 桜井智永

[三味線] 山崎千鶴子 守啓伊子

[琵琶] 久保田晶子 藤高理恵子

[箏I] 田村法子 伊藤麻衣子

[箏II] 久本桂子 三宅礼子

[十七絃] 城ヶ崎美保 佐藤里美

「糸」だけによるアンサンブル曲に挑戦したいと思った。そう、箏や三味線、そして琵琶などの、、が、その個々の音はヴァイオリン等のように弓でひかない限り、持続されることなく撥絃されてすぐに減衰してしまう。そこで、この撥絃された時のアタック音をひとつの点として、異なる糸群の楽器の響き(うねり)で、その点と点を繋いでゆけないものか。と思った。と同時に、独奏箏と糸群の響の違いも明確に表示したいと思った。

「挿頭花－かざし－」とは行事や祭の際に髪や冠に挿す花飾りのことで、絹糸で作られたものもあるという。

そして最後にひとつ付け加えるとすれば、本日のステージ上をご覧頂きたい。挿頭花の似合う？女性のみの番組である。「糸の力」もさることながらいわゆる「女子パワー」もお楽しみ頂きたい。(作曲：高橋久美子)

5、三味線と声のための協奏曲“酒呑童子” 福嶋頼秀作曲・再構成・脚色：委嘱初演 ～物語の名場面をつづりながら～

Concerto for Shamisen and Voice "Shuten-douji"

第1楽章 大江山にて。酒呑童子の悪事と源頼光の鬼退治

第2楽章 お座敷で。管を巻く酒呑童子

第3楽章 京や江戸で。空から酒屋をねらう日々

[独唱] 青山恵子(客演) [三味線独奏] 杵家七三 [指揮] 苦米地英一(客演)

[笛] 新保有生

[尺八I] 米澤浩 阪口夕山

[尺八II] 原郷隆 大賀悠司

[琵琶] 藤高理恵子

[箏I] 田村法子 佐藤里美

[箏II] 三宅礼子 伊藤麻衣子

[十七絃] 城ヶ崎美保 久本桂子

[打楽器] 仙堂新太郎 望月太喜之丞

長唄や地歌、琵琶の弾き語り等、日本の伝統音楽の系譜の中で、器楽と声の表現は密接な関係にある。協奏とは本来、独奏楽器が技巧的に活躍する器楽曲を指すが、日本音楽的な協奏曲の形として、三味線(=器楽)とソプラノ(=歌や語り)の双方をフィーチャーしたのがこの作品である。

題材として『お伽草子』などにも登場する『酒呑童子』の物語を取り上げ、その各場面を三味線とソプラノが活躍しながらつづる形で、曲は進行する。

第一楽章は酒呑童子という鬼が京の町で悪事を働く場面と、源頼光による鬼退治の場面で、シリアスな曲調。第二楽章は童子がお座敷で管を巻く場面で、ユーモラスな音楽の後、嘆きの歌を三味線がしっとりと支える見せ場が続く。第三楽章は童子が黒雲に乗って大坂や江戸の酒屋を襲う場面で、三味線が技巧的に活躍し、ラップやデュエットも用いて劇的に音楽が展開する。(作曲：福嶋頼秀)

【正会員】 (団員) (楽器別・五十音順)

笛 新保 有 生
竹 井 川 浩平 (尺八)
西 井 浩平
箏 篠原 祐二
西 原 祐二
尺八 大賀 悠 司
大 賀 悠 司
阪 原 藤 重 康
水 崎 川 重 康
三 宮 田 橋 貴 八
宮 元 永 澤 拓
渡 辺 浩 淳

胡弓 多々良 香保里
三味線 在原 富士江 ※
在 原 家 七 美 香 ※
坂 口 積 大 志 大
穂 田 弘 司 郎 子
斐 田 啓 伊 子
守 山 崎 千 鶴 子
琵琶 久保 田 晶 子
首 藤 久 美 子
田 原 順 子
藤 高 理 恵 子
細 川 華 鶴 子

箏 伊藤 麻衣子
久 東 寿 利 子
熊 沢 栄 子
桜 井 智 永 美 美
佐 藤 里 美 美 ※
島 崎 春 美 子
城 ヶ 村 法 保 子
田 彦 坂 恵 美 子
久 本 桂 子
前 川 保 美 子
丸 岡 映 礼 子
三 宮 宅 圭 子
山 田 明 美 子
渡 辺 正 子

打楽器 白杵 美智代
尾 崎 太 昇 香
黒 坂 聖 太 郎 子
島 村 新 恵 子
仙 堂 月 太 利 一
多 田 喜 一 順
望 山 内 慶
山 盧 慶
指揮 稲 田 康 男
田 村 拓 生
田 村 文 生

作曲 秋 岸 寛 久
川 崎 絵 都 夫
篠 田 大 介 子
高 橋 久 美 子
福 嶋 頼 秀
楽器・舞台 中 島 隆
代表 田 村 拓 男
副代表 尾 崎 太 一

運営委員 元 永 拓 ☆
川 崎 絵 都 夫
穂 積 大 志
桜 井 智 永 子
久 本 桂 子
久 保 田 晶 子
守 啓 伊 子
監事 宮 田 耕 八 朗
三 田 村 典 昭
事務局 中 山 美 穂 子
永久名誉団員 長 澤 勝 俊

2012年2月現在
(※印は休団中)
(☆印は運営委員長)

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くのの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上) 法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】 (口数・五十音順)
[法人]
特定非営利活動法人
トリトンアーツネットワーク
株式会社タービュランス

平木 睦	伊藤 憲夫	草野 達彦	須郷 哲治	富山 優子	皆川 正一	油谷 美穂子
伊藤 美好	小池 節子	添川 浩史	友杉 毅	皆川 春子	吉田 茂	
浦吉 ゆか	斎藤 哲清	武田 容子	西野 千恵子	宮川 慶子	吉野 元祥	
青山 光枝	佐藤 利明	立花 大幹	茅原 芳男	村林 彰	吉村 七重	
朝吹 英世	佐藤 裕美	千葉 一郎	藤川 雅之	元永 美代子	渡辺 邦子	
浅見 松子	繁下 敏子	千葉 整子	古館 博義	森 繁美	渡辺 治子	
安倍 潔	四反田 素幸	辻 淑子	真部 正明	八木 君子		
石井 智子	柿崎 やよい	杉山 英樹	水野 正徳	山本 恵		

(2012年2月現在)

料 愉 し び

株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792) 8437
URL : http://kinko-do.com/
E-mail : tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団